

(学年) 第2学年、(教科・科目) 商業・簿記

一斉学習

(単元) 精算表

(本時のねらい)

決算整理など決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な決算整理と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たせるようになる。

- ・既習の8桁精算表の整理記入の役割を復習し、損益の整理も仕訳にしたがい、整理記入欄に記入できるようになる。
- ・整理事項が増え、複雑になっても処理ができるようになる。

(ICT活用方法)

- ・決算整理事項及び勘定科目が増えて複雑になっているため、生徒が解いている問題をプロジェクターでホワイトボードに投影することでより理解を深める。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・前時の復習を行い、本時の学習内容を理解する。	・8桁精算表の意味について確認をする。	
展開 40分	・8桁精算表の手順の確認をする。 ・8桁精算表を作成する。	・教科書で大切な部分にアンダーラインを引かせる。 ・決算整理仕訳をワークシートに記入させる。 ・作成手順を確認し、発表させながら精算表を作成させる。	・表計算ソフトで作成した精算表の教材をホワイトボードに投影しながら記入方法の説明をする。
まとめ 5分	・本時の学習内容の確認および次時の予告を聞く。	・本時の学習内容を簡潔に説明する。 ・8桁精算表についての問題を解いて学習する事を伝える。	

(授業の様子)



<作成した教材>



<学習の様子>

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

簿記の帳簿類は細部まで記入をしなければならぬため、板書だけでは説明が不十分になる。特に精算表のように二つ以上の表が集まっている場合は、要点が生徒に伝わりづらい。プロジェクターを使用した授業はこのような点で効果的である。